

# 豊寿園

FRUITFUL TREE

# 豊かな樹

Summer 2017

Vol. 35

JAPANESE RED CROSS

SOCIETY FUKUOKA

PREFECTURAL CHAPTER

THE SPECIAL NURSING HOME

HOUJYUEN

TOPICS

MORE CROSS

HOUJYUEN'S ALBUM

AREA INFORMATION

CARE MEMO

HOUJYUEN×FAMILY

SPECIAL SECTION

## トピックス

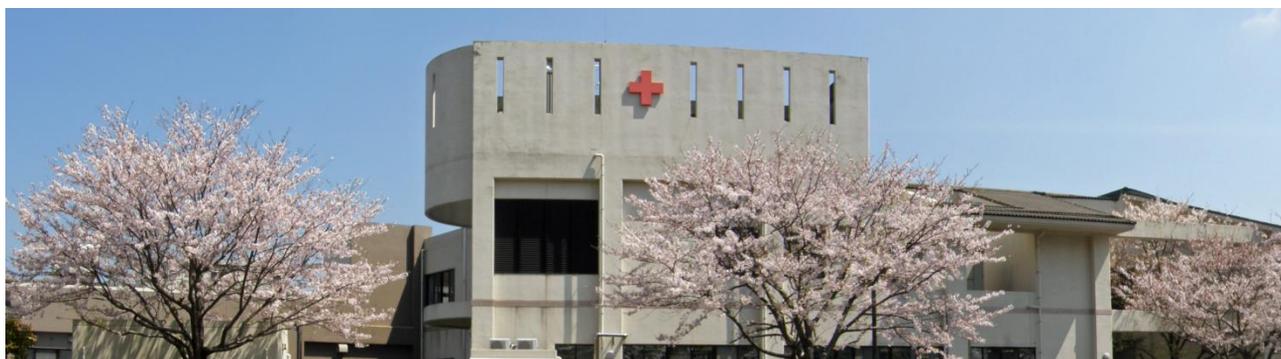
T O P I C S

## 豊寿園は開園から20周年を迎えました！

おかげさまで、豊寿園は、6月5日で開園20周年を迎えました。これもひとえに、利用者様、ご家族の皆様をはじめ、地域の皆様、ボランティアの皆様など関係各位のご支援、ご協力の賜物と、心より厚く御礼申し上げます。

豊寿園は、平成9年に北九州市のご協力で認知症の方専門の特養として開園し、その後の介護保険制度開始にあわせケアプランセンターを開設し、現在の事業形態となりました。開園以来、一貫して認知症の方の介護に努めてまいりましたが、20周年を迎え、ようやくこれまでの取り組みが地域でもご理解いただけてきたという確かな実感を持つに至りました。私達が、これまでの歩みを止めることなく、より進めていくためには、私たち自身の研鑽はもちろんのこと、関係各位の皆様からのご指導ご鞭撻が必要でございます。また、基本理念に掲げる「地域に愛される施設」を実現する為には、これまで以上に地域の皆様とも連携、交流を深めてまいりたいと考えております。豊寿園が、今後も私達を必要として下さる方々と共に30周年、40周年とその年月を重ねていけますよう、皆様方のお力添え賜りますよう心よりお願い申し上げます。

豊寿園園長 森 広樹



## The 20th anniversary of HOUJYUEN

## 特養利用者様の健康診断を行いました！

6月27日、28日に、園内にて特養の利用者様を対象とした健康診断を実施しました。診断の結果については嘱託医師である渡邊先生に追加検査等の指示を仰ぎ対応してまいります。

## 入所待機者が決定！

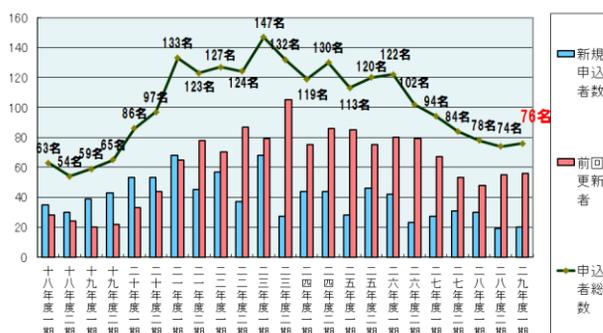
5月22日に、外部の第三者委員を交え、豊寿園に入所のお申し込みをいただいた方々の待機順位を決定する入所検討会議をおこないました。今回、豊寿園にお申し込みをいただいた方々は76名でした。

待機順位の進捗は、豊寿園のホームページで随時更新していますので、是非、ご確認ください。

## 豊寿園家族会総会が開催されました！

6月4日、豊寿園の研修会議室にて、平成29年度の豊寿園家族会の総会が開催されました。平成28年度の決算と、今年度の活動内容及び予算が審議され、今年度も昨年同様の活動を行うことが決議されました。

また、恒例の勉強会については11月11日(土)介護日に、「看取り介護」をテーマに実施することも決定いたしました。



日赤豊寿園

検索

**4月8日  
門司区歯科医師会  
による歯科検診！**

門司区歯科医師会の先生方にご協力いただき、特養利用者様を対象とした歯科検診を行っていただきました。この検診は、開園以来毎年、歯科医師会様のご好意で実施いただいているものです。検診の際には職員へケアの指導も行っていただいております。豊寿園の健康管理には欠かせないものになっています。



**きつと  
クロス!  
計画**

**4月22日  
じゅんの会総会へ**

豊寿園で活動いただいています北九州赤十字看護奉仕団じゅんの会の今年度総会が開催されました。今年度も変わらぬご活躍をお願いいたしました。



**5月20日  
門司港レトロのボランティア清掃**

毎年恒例の、門司港レトロ地区周辺の清掃活動をじゅんの会の皆さんと行いました。2時間程度の清掃で、たくさんのごみを集めました。



**6月19日  
社会福祉法人安岐の郷による視察受け入れ**

大分県国東市にある社会福祉法人 安岐の郷から高橋理事長はじめ職員の皆さんが厨房業務の視察に来園されました。有意義な交流となりました。



## 花見



4月 研修会議室でお花見をしました。今年の園内の桜は開花が遅く、当日はあいにくの雨模様。屋内でビールや弁当、カラオケで宴会をお楽しみいただきました。

## 買い物



## 新門司保育所交流会



5月 新門司保育所園児さんとの今年度初めての交流会。一緒に端午の節句をお祝いしました。



4月 園内での買い物をお楽しみいただきました。スイーツや雑貨などお好きな商品を選びました。

## バスハイク

5月 ご家族と一緒に、白野江植物公園、総合農事センター、サンリブシティ小倉へお出かけしました。



## 開園記念行事



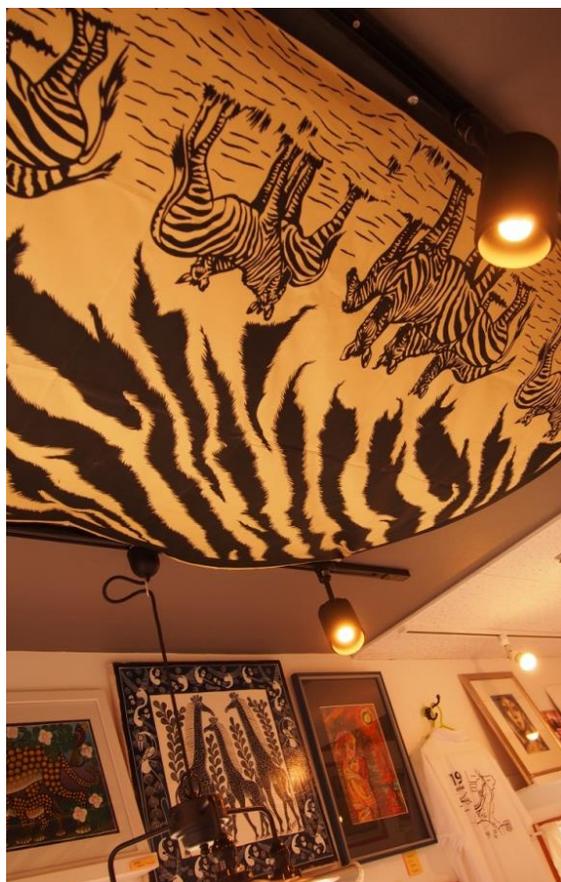
6月 開園記念日に、ご家族と一緒にデザートとバナナ倶楽部さんによるバナナの叩き売り、メレアロハさんによるウクレレ演奏をお楽しみいただきました。

## ドライブ



5月 デイサービスの皆さんと紫川に鯉のぼりを見学に行きました。色とりどりのたくさんの鯉のぼりを楽しみました。

## 地域ぶらり情報



### 人とのつながりをつくる店

JR門司駅近くの赤煉瓦プレイスに『ティンガティンガ』を眺めながら、タンザニアのオーガニックコーヒーが手頃に飲めるお店Naiz Rafiki（ナイズラフィキ）があります。十数年前よりタンザニアのオーガニックコーヒーを取り扱うようになり、地元の人にももっと知って欲しいと、昨年7月にオープンしました。

お店には、『ティンガティンガ』の原画を始め、タンザニアやモンゴルを中心に世界25ヶ国の雑貨も扱っています。ハンドメイドで1点物が多いので、1ヶ月で置いている雑貨が変わることが殆どなのだそうです。店名のナイズラフィキとは、『友達、ご縁、友好』の意味を持つ、モンゴルとタンザニアの言葉をあわせた言葉です。タンザニアコーヒーを取り扱うようになったのも人との繋がりがりからで、『友達をつれてきたくなる、人に伝えたくなる店、そして皆さんとご縁ができる場所』をコンセプトにしているので、気軽にお店にコーヒーを飲みに来てほしいと店長さんは話します。

気になった方は是非、『Naiz Rafiki』にコーヒーを飲みに行ってみてはいかがでしょうか。

#### Naiz Rafiki（ナイズラフィキ）

アフリカ雑貨&カフェ  
北九州市門司区 大里本町3-6  
TEL 093-981-8430  
定休日 不定期 OPEN 10:00~22:00

## あとながき

おかげさまで豊寿園は20周年を迎えました。私自身が豊寿園の広報に携わるようになって約8年。広報誌、パンフレットの改定や、ホームページやブログ、フェイスブックの開設など皆様に様々な形で情報をお届けできるようになってきました。私がはじめて広報に携わるようになった時の思いは、もっともっと沢山の方に豊寿園のことを知っていただきたい、また、赤十字の事業活動のひとつに社会福祉があるということを知っていただきたい、という一念でした。

これからも知っていただきたい豊寿園や赤十字の活動があるかぎり、豊寿園の広報活動はもっと分り易く、もっと丁寧にそれらを皆さんに発信していきたいと思えます。

今後も豊寿園の広報活動に乞うご期待下さい。

平成29年度広報委員 森 英樹

## 今回のCOVER



今回表紙は、豊寿園の開設以来、現場を引っ張って来られたお二人（ご夫婦）に飾ってもらいました。誰だか分りますか？

très bien

# 介護一口メモ

C A R E M E M O

今回のテーマは「熱中症」についてです。  
熱中症の正しい予防方法をご紹介します。

## — 熱中症の基本知識 — おかしいな、と思ったら直ぐに医療機関を受診しましょう！

毎年夏になると、熱中症で倒れた、熱中症で緊急搬送されたなどのニュースを沢山見ますよね。熱中症患者の多くは高齢者だということをご存知ですか？

高齢者が熱中症に罹りやすい原因としては、①体内の水分量が少ない②暑さ寒さの感覚が鈍くなる③体温調節機能の低下④持病を抱えている方が多いという点が挙げられます。



### 外出時の対策

- ☆ 薄着を心掛ける。
- ☆ 日傘や帽子をかぶり、直射日光を避ける。
- ☆ ペットボトルや水筒など飲み物を持っていく。
- ☆ 一番気温の高い午前10時から14時は外出を控える。
- ☆ 困った時や緊急時のために、かかりつけ医や自宅の連絡先などを持ち歩く。
- ☆ 体調が悪くなったら無理をせず、周りの人に助けを求めましょう。
- ☆ 立ちくらみや足がつった時などは そのサインを見逃さずに涼しい場所へ移動して首筋やわきの下や足の付け根など、太い血管の通っている所を保冷剤などで冷やすようにして下さい。



### 家の中の対策

- ☆ 外出から帰った時は、窓を開けて室内に風を通す。
- ☆ よく目につく場所に温度計を置く。
- ☆ 体感ではなく温度計を見て、室温を調整しましょう。
- ☆ 喉が渴いたらではなく、2時間おきなど時間をきめて水分を取る。
- ☆ ちょっとでも暑さを感じたら、我慢せずに扇風機やクーラーをつけましょう。

## ニセ電話詐欺にご注意ください！

ニセ電話による詐欺被害は平成29年5月末時点で、福岡県内では211件発生し、被害総額は3億2,171万円と昨年度と比べ約6千万円も増えています。そのうち、豊寿園のある門司区内での発生は7件（平成29年5月時点）で被害額は1,558万円に上っています。特に、息子などの名前を名乗る、いわゆる「オレオレ詐欺」が増えており、『鞆を無くした』、『株に失敗した』などを理由に現金を騙し取る手口が多いようです。

### 詐欺に遭わないためのポイント！

- ☆ いつもの電話番号に電話をかけて確認する
- ☆ 知らない人には絶対にお金を渡さない
- ☆ 息子に違いないと思っても、必ず家族に相談する

電話でお金はすべて詐欺！すぐに相談・110番！

※資料提供 門司警察署生活安全課

# あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回、奥水介護課長のインタビューを受けてくださったのは、小川 節子様です。ご自宅での介護を経て、現在はお姉様が豊寿園にご入所されています。そんな、小川様にご自宅での認知症にまつわるトラブルについてお聞きしました。

— 姉は今でいうキャリアアウーマンの走りだったんです。 —



今回インタビューに応じてくださった  
小川 節子 様  
お姉様のご自宅での介護を経て豊寿園に入所されるまでの体験談を語って下さいました。

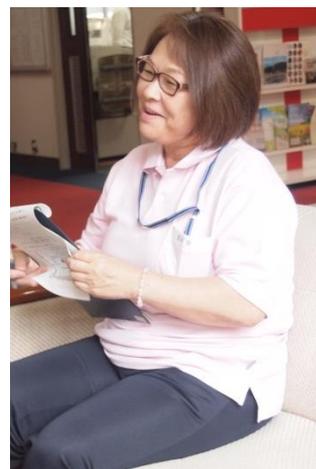
私は姉と年が離れていたで、姉が家を出た時、私はまだ小学校低学年でした。姉は当時、今でいうキャリアアウーマンの走り、自立していました。私が高校に進学する頃には、両親からは高給で学費を出せないと言われましたが、『私が援助するから』と姉が言ってくれて、『これからは資格があるから』と短大の学費も援助してくれました。私が結婚する時も、きちんとしないといけない、姉が全部準備をしてくれました。自分には結婚しないで定年まで勤め上げました。姉は『結婚もしないし子供もいないので、お金が大事。』と言って、昔からしっかり貯蓄をしていました。両親が亡くなつてからは、両親の仏壇を見てくれるならという事で、兄が家を建てて、姉はその家で独り暮らしを始めました。姉は身近にいる私を頼りにしていたのか、私の子供が大学院へ進みたいと言った時に毎月小遣いを援助してくれるくらいよく気にかけてくれました。

— 検査してもらおうと年相応のアルツハイマーと言われました。 —

姉が72歳になった頃から、「兄弟会」といって兄弟みんなで年に1回旅行に行き始めました。姉が80歳の時、旅行の前日に私がついておいた新幹線の切符を姉に手渡ししたんですが、当日、待ち合わせの時間に来なかつたんです。結局、自分で切符を買いなおして新幹線には乗れたようで現地でも合流することはできました。でも旅行だというのに全くお金を持たずに来ていたんです。兄弟が姉におこずかいを渡してお土産を買ったのですが、店員に1万円を渡して商品を受け取った後で、また1万円を渡したりと変な行動をしていることに気がつきました。もともとおとなしい性格で、兄弟がワイワイ話している時も、にこにこ笑って見ているという感じだったので、兄弟の誰も姉がおかしいとは思わなかつたようです。ちょうどその頃、姉から『頭が痛いから病院に連れて行って』と言われ、国立病院に連れて行きました。検査してもらおうと医師から年相応のアルツハイマーと言われました。当時は認知症という言葉が耳にすることもなく、治らない病気と言われました。姉に「頑張つて生活してね」と伝えると、『お金はあるから大丈夫』と言っていたのを覚えています。

— 渡された通帳には数百円しかありませんでした。 —

私はちよくちよく姉の家に行つて様子を見てはいたのですが、ある時、姉の家の水道が止められていることに気がきました。



調べてみると、今まで3、4千円だった水道代が3万円になっていて、それが数ヶ月間引き落とせなくて止められていたんです。家の中を調べると、着物の支払いに3千円、布団や床下換気扇、屋根のソーラーパネルの工事やなんかの領収書や明細が一杯出てきました。そのソーラーパネルの工事ミスで水漏れを起こしていたのが水道代が跳ね上がった原因だったようです。他にも、48万円の振り込みの領収証が10枚以上あつたりして、合計すると毎月のローン返済が28万円もありました。姉には私が定年したときに退職金の一部を渡していたんですが、そのお金も半月でなくなっていました。借金の返済に回っていたようです。新聞は3紙も契約しているし、牛乳やヨーグルトの宅配なんかも沢山入っていました。姉が自分でかけていた保険などもすべてローンの担保になっていました。それからしばらくは、消費者センターや区役所に相談に行つて、解約や返品などの手続きに奔走しました。そのころ、姉の家に行く、知らない親子が住み着いていたのでとても驚きました。誰かれ構わず周囲の人に親切にしては、お金を貸したりしていたようです。姉は、親元を離れてから20年間、いとこの家に間借りをして生活していたので、食事を準備してくれることにおかしいと思えなかつたんでしょうか。あわてて警察に通報しました。

HOUJYUEN × Family



それからすぐに介護保険を利用する為、要介護認定をお願いしました。調査員さんと姉の家に行ったときです。家に本人はいなくて、テレビはついて玄関は空いていました。寒い日でしたがしばらく待つっていると、雪が積もって溶けました。頭がびしょびしょの姉が帰ってきました。どうしていたのか尋ねると、「郵便局に行っていた」と言って通帳を渡してきました。「これあんたして」と渡された通帳にはもう数百円しか入っていませんでした。実は、その前に3回調査をお願いしてきたのですが、3回とも「非該当」で却下されてきました。まだ独り暮らしで独りで出歩く事も出来ていたので、本人が消費生活センターへ、「40万円の流し台は高いか安いかな？」と相談に行ったりして、職員さんからも言動を不審がられてという情報と、その日の様子を見て、ようやく調査員さんも姉の状況が分かってくれたようので無事に認定が下りました。

—先日、姉と関わりがあったんです、という人から声をかけられたんです。—

認知症の人だとわかると、手を変え品を変え訪問してきては契約をとっていくみたいですね。長年勤めて蓄えてきたものが消えてしまうなんて本当に悔しいです。

実は先日、自宅の近くで「昔、姉と関わりがあったんです」と言う人から声をかけられたんです。姉に高い布団を売った営業マンでした！その営業マンに当時のことを聞いてみると、「お姉さんは人恋しがっていたんですよ」と言われました。その人が姉の家に営業に行くと、「私、布団がほしかったのよ」と言って快く家上げてくれて、あろうことか通帳もその人たちに見せていたそうです。あの姉がどのタイミングで人が変わってしまったのか分りません。タガが外れたのか、お金の価値観が狂ったようです。まだ姉が元気な頃に、私達兄弟が「お金は残さないで自分のために使つてね」とアドバイスしたのがきっかけだったのかもしれないし、やっぱり寂しい気持ちもどこかあったんでしょう。

もつと私たちを頼つてくれれば良かったのに、という後悔はつきませんが、姉が選んだ人生です。他人にお金を貸してあげることで、親切にしてもらえることが嬉しかったんだと思います。「ダンスの中に思い出がっぱい詰まってるから私はいいの」って袖を通していないたくさんの着物見ては言っていました。きつとその時は楽しかったんでしょう。

今は言葉を発しなくなりましたが、私が食事介助に来ると涙を流すんですよね。どういう思いでいるのか分りませんが、きつと、「あんたにはいろいろしてやった」と、昔のお姉ちゃんの頃の記憶で私を見ているんでしょうね(笑)



お若い頃のお姉様(写真右)。小川さんと姉妹二人でのお写真(写真左)。姉妹思いの頼りになるお姉さんの雰囲気は今も感じます。





豊寿園は平成21年からパレードに参加させていただいています。



赤十字の救護服を着てPRしています。

平成21年はダンボールで手作りした“けんけつちゃん”でした。

「私たちにできる事はきっとある。人がいま試されている。」

パレードには、各校区の婦人会の皆さんで組織されている門司区地区奉仕団の皆さんや、青少年赤十字に加盟されている小中学校の生徒さんと一緒に参加しています。協力して、赤十字の思いを皆さんに届けています。



奉仕団員の方々だけでなく、青少年赤十字加盟校の戸ノ上中学校、早稲中学校、藤松小学校の生徒さんも、一緒にパレードに参加しました。



毎回、沿道からはたくさんの声援をいただいています。

門司のゆるきゃら”じーも”と門司港名物”バナナマン”も参加しました。



## あ な た の や さ し さ を 赤 十 字 に

日本赤十字社は、赤十字活動へのご理解・ご協力を呼びかけるキャンペーン「赤十字運動月間」を毎年5月に全国で展開しています。私たち一人一人に何ができるのか。1ヶ月をかけ、全国でのイベントやメッセージ発信を通して、世界最大の人道支援機関である赤十字の姿勢をお伝えし、活動資金へのご協力やボランティアとしてのご参加を呼びかけています。

豊寿園は、平成21年から毎年5月に北九州市門司区で開催される「門司みなと祭り」の祝賀パレードに参加して地域の皆様に赤十字の活動をPRしています。



写真右 島本委員長  
写真左 武内前委員長

今年の4月より前 武内委員長の後をうけ、門司区地区奉仕団委員長に就任しました島本喜多江です。私は、30年前にPTAの役員になったのがきっかけで校区の行事に婦人会として関わるようになりました。婦人会活動によって地域の方々とのつながりができ、私たちの町に安心・安全の連帯ができていくことにやりがいを感じています。婦人会の関係で赤十字の活動にも携わるようになりましたが、昨今の災害のニュースの中で赤十字が救護活動をしている様子を見る時に、私たちの募金や献血などの運動が少しでも役に立っているのかなと感じ、とても地道な活動ではありますが、やっていて良かったと次への活力を得ています。今後も学びを深め、地域の皆様に少しでも貢献できるように、赤十字の活動の輪を広げていきたいと思っておりますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

2017

Vol. 35

JAPANESE RED CROSS  
SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER  
THE SPECIAL NURSING HOME  
HOJYUEN



Summer 2017

Vol.35

TOPICS

MORE CROSS

HOJYUEN 'S ALBUM

AREA INFORMATION

CARE MEMO

HOJYUEN X FAMILY

SPECIAL SECTION

# FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOJYUEN